

平成 29 年 8 月 29 日

学校法人 実学舎
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
学校関係者評価委員会

平成 28 年度についての学校関係者評価委員会 報告書

学校関係者評価委員会を平成 29 年 8 月 29 日、本校にて実施しました。その結果を下記のとおりご報告いたします。

記

1. 開催日時

・平成 29 年 8 月 29 日（火） 18 時 00 分～19 時 00 分

2. 場所

・本校 302 教室

3. 出席委員と本校からの出席者

出席委員：

小林均 （株式会社太洋社印刷所 総務部 部長）

榊谷都由 （イシイ株式会社 営業部 部長）

鶴野空 （イシイ株式会社 営業部 主任）

山下俊一郎（あさひメディカルグループ 事務長）

鳥山康夫（教育関係者）

福田真奈美（保護者）

小野寺美音（卒業生）

本校からの出席者：

前川一也（校長）、琴野実（キャリア支援センター長）、大木健一（教務部長代理）、

深野敦史（教務係長）、杉浦真一（総務・広報課長）

4. 学校関係者評価委員会次第

① 開会

② 校長挨拶

③ 議長選任

④ 自己点検・評価結果の説明（校長）

⑤ 委員による評価および意見交換

⑥ 閉会

5. 自己点検・評価結果の説明（校長）

別紙「平成28年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに、その結果について説明しました。

6. 委員による評価および意見

別紙「平成28年度についての学校自己点検・評価報告書」をもとに評価を行い、その内容は概ね良好であると結論づけました。なお、委員による評価および意見は下記のとおりです。

●委員による評価

※評価は5段階（未達成、不十分、普通、ほぼ達成、達成）で実施しています。

1.教育理念・目的・育成人材像等		評価
評価項目	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	達成
	1-2 学校の特色はなにか	達成
	1-3 学校の将来構想を抱いているか	ほぼ達成
2.学校運営		
評価項目	2-4 運営方針は定められているか	達成
	2-5 事業計画は定められているか	達成
	2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	達成
	2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	達成
	2-8 意思決定システムは確立されているか	達成
	2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	ほぼ達成
3.教育活動		
	3-10 各教科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニ ー	達成

評価項目	3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構築する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	達成
	3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	達成
	3-13 学科の各教科は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	達成
	3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか	ほぼ達成
	3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	達成
	3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	達成
	3-17 資格取得の指導体制はあるか	達成
4.教育成果		
評価項目	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	ほぼ達成
	4-19 資格取得率の向上が図られているか	ほぼ達成
	4-20 退学率の低減が図られているか	ほぼ達成
	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	ほぼ達成
5.学生支援		
評価項目	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	達成
	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	ほぼ達成
	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全面的に整備され、有効に機能しているか	ほぼ達成
	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	ほぼ達成
	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	普通
	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	普通
	5-28 保護者と適切に連携しているか	ほぼ達成

	5-29 卒業生への支援体制はあるか	普通
6.教育環境		
評	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備できている	ほぼ達成
価	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を	普通
項	整	
目	6-32 防災に対する体制は整備されているか	ほぼ達成
7.学生の募集と受け入れ		
評	7-33 学生募集活動は、適正に行われているか	達成
価	7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	ほぼ達成
項	7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	達成
目	7-36 学納金は妥当なものとなっているか	達成
8.財務		
評	8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	ほぼ達成
価	8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	達成
項	8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか	達成
目	8-40 財務情報公開の体制整備はできているか	達成
9.法令等の遵守		
評	9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	達成
価	9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	達成
項	9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	ほぼ達成
目	9-44 自己点検・自己評価結果を公開しているか	達成
10.社会貢献		
評	10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	普通

項目	10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	普通
----	------------------------------	----

●委員からの意見

- ・ 4-19 資格取得率の向上は、入学者にとって重要なことで評価できる。教員が感じる授業における手応えはどうか。
- ・ 頑張る学生も多く、教員も学生の期待に応えるよう対応している。(本校)
- ・ 資格対策を強化すべく、今年度に見直す予定である。(本校)
- ・ パソコンに興味があり入学したが、入学後も興味が増し休まず登校してよかった。また、設備もよかった。
- ・ 5-28 保護者と適切に連携に関して、成績表や出欠席状況を郵送していることは評価できる。また、インターンシップは、企業としてできることがあれば、協力したい。
- ・ 5-22 就職・進学指導に対する体制が達成になっており、4-18 就職率の向上も達成にしてよいのではないか。
- ・ 目標は 100%なので、達成ではなく、ほぼ達成にしている。(本校)
- ・ 高校では、3 年生に対して 3 週間の企業実習を実施し有効であった。企業の現場のプロが来校して、学生が学べる機会があるとよいのではないか。
- ・ 就職活動キックオフや、クリエイター科・デザイン科の作品展示会では、企業からの来校者があり、学生が学ぶ機会を提供している。今後は更なる充実を検討したい。(本校)
- ・ 学校によって評価方法が異なるのではないか。文部科学省の基準はあるのか。
- ・ 一般に公開されているガイドラインをもとに作成した。(本校)
- ・ 学校自己点検・評価報告書は、一つずつ確実にチェックされており、きちんとした学校という印象である。
- ・ 6-31 インターンシップの達成度が普通になっている要因は何か。
- ・ 医療事務科の病院実習以外は、受入れ先の企業確保など困難な要因があるが、今後の改善を検討したい。(本校)

以上